

せたがやの教育

特集

- ①せたがやの学校給食
- ②学校指定寄附のご案内



令和7年12月15日 発行
世田谷区教育委員会

〒154-8504 世田谷区世田谷4-21-27 ☎ 5432-1111(代)
世田谷区ホームページ <https://www.city.setagaya.lg.jp>

教育目標

幸せな未来をデザインし、
創造するせたがやの教育

4つの基本方針



教えて!
せたがやの星
第29回

プロサッカー選手
佐藤 恵允さん

プロサッカー選手
岡 吾平さん

特集①

せたがやの学校給食

学校の給食における有機農産物(米、野菜)等を活用した取組み



学校では子どもたちに給食を通じた食育を行っています。

世田谷産の農産物を活用した「せたがやそだち給食」を提供し、地場産物や地域への関心を高めたり、有機農産物を取り入れた給食を通じ、環境に配慮した食べ物への理解を深めたりしています。これからも多様な給食を通じて子どもたちの心身の健やかな成長を支えていきます。

船橋希望中学校

「有機米だよ～！」と声をかけると、おかわりに来てくれる子が増えます

取組みの初めの頃は、「有機って何？」という声もありましたが、放送委員が読んでくれる毎月の給食メモを聞くことで、今では「環境にやさしいんだよ！」と他の子が説明してくれることもあります。

お米の甘さ等を味わいながら美味しいいただいている。写真は炊き立てのごはんと最後までキレイに食べてくれたクラスの食缶です。



桜町小学校



クイズで学ぼう有機農産物！

月に1度は有機米、学期に1度は有機野菜を取り入れて給食で提供しています。有機農産物を取り入れる日には、有機栽培についての様々なクイズを給食時に配っている一口メモで出したり、給食委員会の児童に全校にむけて放送してもらったりしています。



松沢小学校

「有機米」や「有機野菜」を身近に

毎月の「有機米ごはんの日」では、「今日は有機米だね！」と話しかけてくれる子もいます。給食時間には、「有機」の意味や良さについて伝えています。これからの時代を生きていく子どもたちが、環境に配慮した持続可能な農業について知り、食材を選択する力を養うこと、生産者に感謝の気持ちをもって食べることをねらいの一つとしています。有機米や有機野菜を給食で提供することによって、子どもたちにとって身近なものになってきています。



問 学校健康推進課 ☎ 5432-2696 FAX 5432-3029

砧南中学校給食室自校化改修



砧南中学校は、今まで調理された給食が搬送されていましたが、北校舎1階の木工室と金工室を改修して給食室を新たに整備し、作り立てるあたたかくておいしい給食を提供できるようになりました。

区では、各学校が自校で給食を調理できるよう、引き続き計画的に整備を進めてまいります。



改修後



作り立てる給食

改修前 (木工室)

問 教育環境課 ☎ 5432-2661 FAX 5432-3029

特集②

学校指定寄附のご案内

皆さんの母校、地域ゆかりの学校と一緒に応援しませんか？

ふるさと納税「学校指定寄附」のご案内

未来の子どもたちへつなぐ学校づくりのため、温かいご支援をお待ちしております

「学校指定寄附」では、改築工事中の学校や改築を予定している学校の中から寄附先の学校を選んでいただき、寄附金はその学校の改築費用として活用します。

寄附対象校 (令和7年(2025年)12月現在)

【小学校】

砧小学校、八幡小学校、深沢小学校、世田谷小学校、玉川小学校、烏山小学校

【中学校】

弦巻中学校、奥沢中学校、松沢中学校、梅丘中学校、砧中学校、駒沢中学校、太子堂中学校、瀬田中学校

※今後、改築予定校が更新された場合には、寄附対象校も同様に更新します。



申込方法

区へ寄附をいただくと、税制上の優遇措置があり、所得税、住民税等の寄附金控除の対象となります。

①クレジットカード決済

世田谷区ふるさと納税特設サイトよりお手続きをお願いします。



※本サイトからお手続きされる場合には、銀行振込も選択可能です。

②振込用紙・銀行振込

世田谷区ふるさと納税サポート室へお電話ください。

電話：050-3628-2356
(平日午前9時～午後5時45分)

③現金持参

教育総務課窓口に直接お越しください。事前にご連絡いただいたと、スムーズにお手続きできます。

※振込手数料がかかる場合、寄附者のご負担となります。

※返礼品はありませんが、寄附いただいた学校の新校舎落成式や内覧会へご招待させていただく予定です。



弦巻中学校へのご寄附は、令和8年(2026年)12月までの受付を予定しています

弦巻中学校は、令和9年度(2027年度)中の校舎完成を目指して改築工事を進めています。弦巻中学校への寄附を希望される方は、受付期間にご留意ください。

※各学校の受付終了時期は、改築事業の進捗に応じて、区ホームページ等で随時お知らせします。



特定の学校を選ばずに応援いただくこともできます～基金のご案内～

学校教育に関する2つの基金への寄附もお待ちしております。税制上の優遇措置や申込方法は上記と同じです。

義務教育施設整備基金

～学校環境と教育の充実のために～



将来にわたって進める区立小・中学校の改築や、それに伴う校舎への太陽光発電設備の設置などに活用します。



世田谷遊びと学びの教育基金

～創造性のある人材の育成のために～



子どもたちが経済的な状況に左右されることなく、海外教育交流派遣等の事業に参加できる環境の充実などに活用します。



問 教育総務課 ☎ 5432-2652 FAX 5432-3028



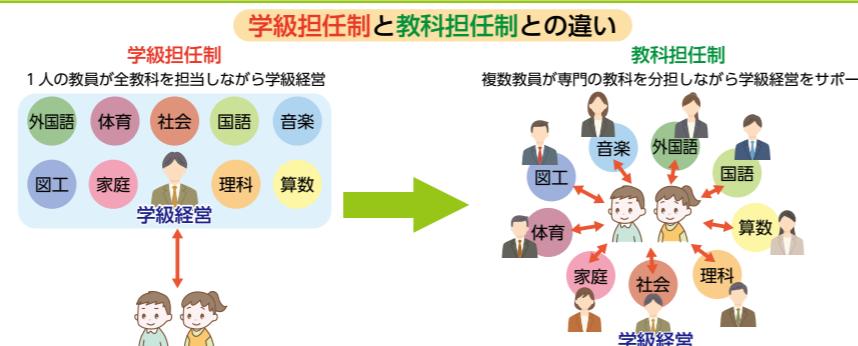
小学校の「学び方」「教え方」を変革する 小学校高学年における教科担任制の導入



世田谷区では、東京都の計画に先んじて、令和7年度(2025年度)から大規模校（1学年5～6学級）、小規模校（11学級以下）の一部に独自に講師を配置し、教科担任制の推進を図っています。

教科担任制とは

学級担任が全ての教科を指導するのではなく、担当する教科を分担（1教科+算数+道徳・特別活動・総合的な学習の時間）することで、集中的な教材研究を可能とし、授業の質を高める。



教科担任制による見込まれる効果

教材研究の充実により、授業の質が向上する
担任以外の先生とのコミュニケーションが広がる
複数の教師が指導に当たり、情報共有することにより、多面的な児童理解ができる
中学校の教科担任制に早く慣れることができます

指導した教員の声

学年全員で子どもたちを見る意識が強まり、情報共有がスムーズになった。
1つの授業準備に掛けられる時間が増え、自信をもって授業を行えた。

高学年の子どもたちの声

担任の先生だけでなく、学年の先生や他の先生にも相談しやすくなった。
たくさんの先生から認められて嬉しかった。

問 教育指導課 ☎ 5432-2711 FAX 5432-3041

区立中学校部活動の地域連携・地域展開



全国の中学校で、部活動の地域連携・地域展開が進められています。これは、将来にわたって生徒がスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会を確保することを目的としており、併せて教員の働き方の見直しにつながる取組みです。

世田谷区の区立中学校では、地域の人材が部活動の指導に携わる「地域連携」の取組みを進めており、令和7年度(2025年度)モデル校の玉川中学校では、公益財団法人世田谷区スポーツ振興財団が部活動運営支援を担っています。

- 配置した部活動支援員が、生徒への技術的な指導や大会の引率等を行います。
- 日頃の部活動の実施管理や、部内連絡用の部活動アプリの導入等、部活動運営にかかる教員の業務を軽減する支援を行います。

令和8年度(2026年度)以降、対象の中学校を順次拡大していくます。また、「学校部活動を段階的に地域クラブ活動に移行していく（地域展開）」とする国の方針を見据えた取組みも、並行して進めています。



問 地域学校連携課 ☎ 5432-2723 FAX 5432-3025

小・中学校の特別支援学級の整備

区では、すべての子どもたちがお互いを尊重し、地域で支え合い、安心して共に学び、共に育つことができる地域共生社会を実現するために、学校教育で一人ひとりの多様性を子どもたちが理解し、尊重しあうインクルーシブ教育に取り組んでいます。

その一方で、特別支援学級への就学・進学・転学を選択される方も増えており、障害の状態などにより、特別な配慮が必要となるお子さんのために、必要な支援を行っています。

世田谷区立小・中学校特別支援学級整備計画（令和7年度(2025年度)～令和9年度(2027年度)）に基づき、計画的に特別支援学級、特別支援教室（すまいるルーム）の整備を進めてまいります。

令和8年度(2026年度)は、以下の小・中学校に特別支援学級を開設いたします。

知的障害学級（3校）

- 桜小学校
- 中里小学校
- 瀬田中学校



自閉症・情緒障害学級（4校）

- 中町小学校
- 給田小学校
- 喜多見小学校
- 桜丘中学校

特別支援学級等への入級や利用にあたっては、就学相談のお申込が必要です。



問 支援教育課 ☎ 6453-1512 FAX 6453-1534



令和8年度(2026年度) 世田谷区立中学生海外派遣事業 生徒募集等

令和8年度(2026年度)世田谷区立中学生海外派遣事業 生徒募集（統一公募）

令和8年度(2026年度)に実施する海外派遣事業に参加する生徒を募集します。

R8(2026年)から開始

対象 区立中学校2年生（派遣時）

派遣先 オーストラリア・バンバリー市、オーストリア・ウィーン市、カナダ・ウィニペグ市、アメリカ・ポートランド市（計65名程度）

日程 令和8年(2026年)9～10月頃・7～10日間程度（派遣先により異なります）

内容 現地中学校訪問、企業訪問、ホームステイなど

費用 4～6万円程度（派遣先により異なります。就学援助世帯への助成あり）

※その他、パスポート取得費、海外旅行保険料等私的な費用についてご負担いただきます。

申込方法 [区HP](#) 28673 または右の二次元コードからオンライン手続き。令和7年(2025年)12月19日(金)から令和8年(2026年)1月14日(水)午後5時まで。詳細は区ホームページをご確認ください。
※本事業に係る令和8年度予算の配当を条件とします。



今後の国際理解教育の推進

区では、世田谷区教育振興基本計画の施策「国際理解教育の推進」の取組みとして、学校での「英語教育」と、国内における外国人との事業や海外派遣先での交流や実践を中心とする「体験活動」を柱とした、区立小・中学生の国際理解教育の充実に取り組みます。体験活動は、児童・生徒の知識・体力等にあわせて、中学生には海外で、小学生にはより身近な国内で、多くの体験ができるよう充実を図っていきます。なお、小学生の海外派遣は令和7年度(2025年度)で終了といたします。

そのほか、オンライン英会話・AI英会話の導入を検討しています。

子どもたちの体験活動を応援してください！

みなさまから世田谷遊びと学びの教育基金にお寄せいただいた寄附（ふるさと納税）は、海外派遣など体験活動の機会の拡充や経済的環境に関わらず子どもたちが様々な事業に参加できるしくみづくりに役立てています。
引き続き応援をお願いします。詳しくは、[区HP](#) 2022 または右の二次元コードからご確認ください。



問 教育指導課 ☎ 5432-2706 FAX 5432-3041

STEAM教育講座

STEAMとは、Science(科学)、Technology(技術)、Engineering(工学)、Art(芸術)、Mathematics(数学)の頭文字をとった言葉です。教育総合センターでは、大学、高校、企業等との連携のもと、子どもたちがこれまでに学んだ知識や考え方を総合的に活用して、問題解決力や創造力、探究的な思考を育むSTEAM教育講座を実施しています。プログラミングや科学実験などの様々な内容の講座を年間90回程度開催しており、参加者の皆様から「初めてのことわざでワクワクした」「科学が楽しい!」「また参加したい」など、高い評価をいただいている。区内各地域での開催や、学校への出前講座も行っています。



初めてでもできる!
音楽演奏プログラミング
in成城大学
データサイエンススクエア

講座内容及び申込



問 事業推進担当課 ☎6453-1536 FAX 6453-1534



ハローキャリアワーク

教育委員会では、企業等との連携による仕事をテーマにした小・中学生対象の講座「ハローキャリアワーク」を実施しています。企業等を実際に訪問し、事業内容を知ったり、仕事体験をしたりしています。企業等の課題解決のために、子どもたちがアイデアを生かして提案するプログラムも実施しています。

「ハローキャリアワーク」は子どもたちが興味のある業種やテーマを選んで参加して、それぞれの学びにつなげ、自らのキャリアや未来を思い描く機会となることをめざしています。

楽天グループ株式会社
「インターネットを安心・
安全に使える方法を楽天社
員と一緒に考えよう!」



楽天の中を見学したり、学べたりして楽しかった

講座内容及び申込



問 事業推進担当課 ☎6453-1536 FAX 6453-1534



総合教育会議HP

世田谷区総合教育会議の開催

**テーマ 子どもの学びと成長を核に
学校を中心としたコミュニティづくり**

11月8日(土)に東京都市大学共通教育部長 井上 健 教授をお招きして、「みんなの学校をみんなでつくる一世田谷らしいコミュニティ・スクールをめざしてー」をご講演いただきました。また、「今後の区立小・中学校地域運営学校を支える新たな体制のあり方」の検討状況の報告後に、井上教授からは「課題を克服して前に進んでほしい」、区長からは「熱量をもって改革してほしい」と意見がありました。この報告と区長、区参与、教育長、教育委員による意見交換を経て、地域運営学校を支える新たな体制の実現に向けた区と教育委員会による決意が示されました。会議の詳細は、上記の二次元コードからご確認ください。

問 教育総務課 ☎5432-2745 FAX 5432-3028

「せたがやの教育」は世田谷区HP及び
広報紙閲覧サービス「カタログポケット」(多言語翻訳・音声読み上げ機能)
で読むことができます。



Information

ピースセミナー
「戦後80年、未来に伝える
『私の経験』～戦争と平和とは～」
を開催!



小学4年生から大人までの様々な年代が参加し、世田谷空襲体験者の丹後省三さんの貴重な体験談を通して、戦争と平和について考えました。「今の平和は当たり前ではないのだと感じた。」「貴重なお話を未来に伝えていこうと思った。」などの感想が寄せられました。次回、ピースセミナーは丹後省三さんと共に世田谷戦跡巡りを行います。日程は2月28日(土)でそのほかの詳細については、2月1日号の区のおしらせに掲載予定です。



問 生涯学習課 ☎3429-4255 FAX 3429-4267



文字・活字文化の日記念講演会
～松井玲奈 俳優×読書～

10月18日(土)に玉川区民会館せせらぎホールにて、俳優・作家の松井玲奈さん、フリーアナウンサーでエフエム世田谷パーソナリティーの河西美紀さんをお迎えし、文字・活字文化の日記念講演会「松井玲奈 俳優×読書」を開催しました。当日は、河西さんの軽快な進行で、松井さんに子どもの頃に好きだった本や、ご自宅の本棚のこだわりなどについて伺っていました。また、俳優、作家と多方面で活躍されている松井さんに、執筆をはじめたきっかけや小説を連載する大変さについてのお話を聞いていただくなど、盛りだくさん! 最後は、事前に募集した松井さんへの質問に答えてください、参加された方々は大満足の講演会となりました。



問 中央図書館 ☎3429-1811 FAX 3429-7436

中学校生徒作品展覧会

例年1月の2週目頃に世田谷美術館「区民ギャラリー」にて中学校生徒作品展覧会を開催しており、令和7年度(2025年度)は1月15日(木)～1月18日(日)を予定しています。

令和6年度(2024年度)は、1年生から6年生までの図画工作作品の中から、約1,000点の作品が展示されました。

児童たちの気持ちのこもった作品をぜひ見にいらしてください。

※区立小学校は学校数が多いため、約30校ずつ、隔年で交互に展示しています。

※区民ギャラリーは入場無料です。



問 学務課 ☎5432-2687 FAX 5432-3067

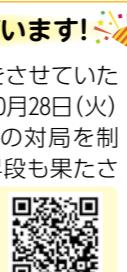


問 学務課 ☎5432-2687 FAX 5432-3067

伊藤匠さん、二冠達成＆昇段おめでとうございます!

「教えて! せたがやの星」第22回にてインタビューをさせていただいた将棋棋士の伊藤匠さんが、令和7年(2025年)10月28日(火)に行われた王座戦第5局で、王座・藤井聰太さんとの対局を制し、タイトルを獲得されました。さらに、九段への昇段も果たされ、将棋界に新たな歴史を刻まれました。伊藤さんのさらなるご活躍を、心より応援しております!

インタビュー記事は右の二次元コードからご覧いただけます。



今回はFC東京の岡選手と佐藤選手にインタビューしました。お互いへのメッセージを聞くと、「まだないです」と笑しながら即答。きっと言葉にしなくても伝わるものがあるかもしれません。みなさんも友達と過ごす中で、言葉にしなくても気持ちが伝わったり、気付かないうちに学び合い、支え合っていることがあるはずですね。これからも友達との時間を大切に過ごしてください。

次号126号は令和8年(2026年)3月に発行予定です。



とうようう ようしき
サッカーJリーグ・FC東京の岡哲平選手、佐藤恵允選手にインタビュー。幼少期から世田谷で育ち、小学校や大学では同じチームで汗を流してきたふたりが、学校での思い出や、互いに刺激を受けながら成長してきた歩み、そして今後の目標を語ってくれました。また、世田谷への思いとともに、子どもたちへのあたたかいエールも届けてくれました。

そうそう。他の学校との交流が結構あって、僕も友達とやんちゃに楽しく過ごしていました。羽根木公園の梅まつりで披露するため、「山崎太鼓」の練習も一生懸命張ってましたね。学校以外で遊びに行ったり、上北沢児童館に行つて卓球をしていました。

佐藤（以下佐） 小学校はすこくうるさくして、いた印象がありますが、伸び伸び過ごしていましたとも言える気がします。特に年生のときの連合運動会はすこく楽しく、他の学校の友達も一緒に盛り上がり、良い思い出です。みんなで大縄跳びをめちゃくちゃ練習していました。

岡（以下岡） 山崎小学校では、伝統の「和紙作り」を行っていて、他の学校からも子どもたちが本験に来るんです。

世田谷からJリーグへー

「小学校ではどのように過ごしていくか。」

公園をずっと走っていた記憶があります。
（うち）花公園や希望丘公園をひたすら走っていました。2時間の練習のうち、たしか最初の1時間は走って、その後1時間はボールを使って練習をしていました。
体力的に結構きつかった記憶がありますね。でも、区内サッカーチームの大会と
かは面白かったです。

佐 僕は兄^{あに}にサッカーをやっていて、その影響^{えいきょう}で自分も始めました。幼稚園^{ようちえん}の年^{ねん}長くない時^{どき}だったと思います。

岡 僕は小学校^{しょうがっこう}の2年の終わり頃^{ころ}、友人^{ともじん}のお父さん^{とうおやん}に勧められてサッカーチームに入りました。サッカーを始める前^{まへ}は、バスケット^{バスケット}や手球^{てきゅう}、剣道^{けんどう}をやっていましたが、どちらも長くは続きませんでした。今思えば、自分にはサッカーが一番合^{はい}っていたんだと思います。

一 小学生時代^{じだい}に同じチームで過ごした思い出^{おもいだし}がありますか。

A photograph of two Japanese football players, Sato Keisuke and Okada Teppei, standing side-by-side on a grassy field. They are both wearing blue jerseys with red trim and black shorts. The jerseys feature the 'TOKYO GAS LIFE VAL' logo. Sato Keisuke is on the left, and Okada Teppei is on the right. Both players are smiling. In the foreground, there are large, faint signatures of their names overlaid on the image.

せんしゅ
プロサッカー選手
さとうけいん
佐藤 恵允さん

profile
世田谷区立上北沢小学校出身。
岡選手とは、小学生時代のチ
ームメイトであり、明治大学サッ
カーチーム一部の同期。2025シーズン
よりFC東京に加入。
ポジションはフォワード。

せんしゅ
プロサッカー選手
おか てっぺい
岡 哲平さん

Profile
世田谷区立山崎小学校出身。
中学生のころからFC東京のアカデミーに所属し、明治大学サッカー部を経て、2024シーズンよりFC東京に加入。
ポジションはディフェンダー。



—お互いの存在が成長につながったと思
うことはありますか。

[岡 中学校、高校で一緒にサッカーをやっていないときに、僕は結果を残せていなか
中で、彼はFC東京のアカデミーに在籍していて、プロに近い位置にいることは分かっていたので、自分も頑張らないわけないなとは思っていました。

[岡 恵允がオリンピックやアジア競技大会の代表に選ばれたのは刺激になっていました。

—F C 東京での練習や試合ではどんなことを感じますか。

[佐 そうだよ(笑)

[岡 僕はゲーム形式での練習はやっぱり面白いいですね。周りの選手のプレーを見ていろいろの刺激を受けています。

[佐 試合中は夢中でプレーしています。試合前には、自分がどうやってゴールを決めるか、そして決めた後に喜んでいる姿を想像することができます。

[岡 僕はどうやってチームが勝つかということを考えていますね。どうやってゴールを決めるかも考えています。ディフェンダーなんですがね(笑)とにかく自分のプレーに集中することを意識していま
す。あと、応援歌を口ずさんだりすることもあります。

佐 それから、世田谷区はグルメが充実して
き火とか、身体を動かして元気に遊んでほいですね。
岡 確かに。いっぱい食べて寝て大きくなつて
ほしい！

外で身体を動かして元気に遊ぼう！

—最後に、世田谷区の子どもたちへ
メッセージをお願いします。

世田谷区は自然や公園も多いので、公園や児童館に行つていっぱい遊んで伸び伸び育つほしい。外に出て遊ぶ中で、いろいろ取扱うことがあると思います。

佐 まじでないです(笑)

岡 一緒にい過ぎて、ないんですよ。オフの日も一緒にいたりするので。

佐 改めて言うことはないですね。

岡 1ミリもない!

岡僕もワールドカップに出たいですね。
の丸を背負って活躍したいです！
一お互いにメッセージや伝えたいことは
ありますか。

佐個人の目標としては、A代表に選ばれて、「ワールドカップに出たいです。そこは一つサッカー選手としてを目指す場所と、いうか、そんなに遠い目標じゃないと思つてます。

佐 今年はやっぱり天皇杯で優勝したいです！
岡 僕も天皇杯を制してタイトルを取りたいです。リーグ戦でもより高い順位で終えられるように勝ち点を積み重ねていきたいです。

ワールドカップに出場したい――